

2017年3月9日 本会議  
2017年3月17日 文部科学委員会

### 規模・内容を充実し本物の給付奨学金を

安倍政権が今国会の目玉として出してきた「給付型奨学金」法案。大平議員は、支給対象が住民税非課税世帯のみで、同世帯の1割・2万人に過ぎないこと、学業成績によって返還規定があることなど、その問題点を批判し「支給対象の拡大を」「給付とは名ばかりで、文字通りの渡しきりにすべきだ」と主張しました。



2017年3月10日 文部科学委員会

### 通級指導教室の教員基礎定数化は評価

通級教室の教職員の基礎定数化（義務標準法の一部改正案）について、「保護者や教職員らの切実な実態と訴えが法改正に結び付いた」と一定評価。「さらに教員の増員は急務だ」と求めました。

2017年4月7日 文部科学委員会

### 教育勅語は現憲法に合致しない

安倍内閣が「教育勅語を教材として用いることを否定しない」という閣議決定をした問題で、「教育勅語は現憲法と相いれない。教材としての使用容認は勅語の乱用を招く」と追及しました。

2017年5月12日 経済産業委員会

### 原発に頼らない社会へ転換を

島根原発では、宍道断層の詳細な調査と30キロ圏内の5自治体にも松江市並みの協定を求め、上関原発では、重要電源開発地点の指定取り消しを要求。

2017年5月19日 国土交通委員会

### 鉄道網を維持し未来に引き継ごう

三江線などローカル線廃止問題で「このままでは日本の鉄道は新幹線と都市部しか残らない」「国が明確な方針を持たないことが問題だ」と追及。

2017年6月9日 災害特別委員会

### 広島土砂災害3年—警戒区域指定急げ

広島土砂災害から3年—。危険個所の基礎調査と特別警戒区域の指定の遅れを追及。また福祉避難所の充実を求めました。

**27万筆余の  
請願書名を提出**  
193通常国会では、戦争法の廃止、共謀罪反対や学費の軽減、私学助成の充実などを求める66件27万筆余の請願書名が大平議員に寄せられ、紹介議員として衆議院に提出しました。  
今国会への法案提出で注目され、新たに組み込まれた「通級教室の教員増を求める請願署名」に積極的に協力しました。

# 加計疑惑を 追及

## 国政の私物化



動画 戦略特区諮問会議  
への文科省の姿勢  
について丁寧な経



「加計ありき」の疑い深まる!?

2017年4月28日  
文科委員会

過を追って検証し、「いわゆる獣医学部新設の4条件（閣議決定）をなし崩しにして、今治市への新設が決まったのではないか」と追及しました。

大平議員が「今治市・加計学園の提案は4条件をクリアしていると考えているのか」と追及したのに対し、松野博一文科相は「国家戦略特区諮問会議で決定したことで、内閣府からお答えすべきだ」と責任逃れに終始。「加計ありきで行政が歪められたのではないか」との疑惑がいつそう深まりました。

### 憲法審査会

## 緊急事態、基本的人権、教育無償化… 道理ない改憲論を論破

通常国会中に憲法審査会は、9回（3回は参考人質疑）開かれました。大平議員は、参考人質疑1回、発言4回（党代表としての発言を含む）をおこない、自民党など改憲勢力が持ち出してきた緊急事態条項、基本的人権の加筆、教育無償化の明記などの改憲議論をことごとく論破し、道理のなさを明らかにしました。  
大平議員は、緊急事態条項について「国会議員の任期延長は、国民の選挙権を停止するものだ」と指摘し、教育無償化についても「憲法に書き込めば実現する、書き込まなければ実現しないという問題ではない」と強調。さらに安倍首相の「改憲発言」を厳しく批判しました。

## 核兵器禁止条約の国連交渉会議に参加

大平議員は7月5日から8日まで、ニューヨークで開かれていた核兵器禁止条約の国連第2回交渉会議（6月15日～7月7日）に参加。



大平議員は「人類と決して共存しえない核兵器に、『悪の烙印』が押された。まさに歴史的瞬間に立ち会うことができました」と語り、「条約を締結する政府に転換するため全力で頑張ります」と決意をあらたにしています。